

リツキシマブ療法

FN - : 催吐性 最小

診断名 : CD20 陽性 B 細胞性非 Hodgkin リンパ腫

○投与スケジュール(1 コース28日間)

Day1、8、15、22 (1 週間間隔)

リツキシマブ[10mg/ml] div 375mg/m²

▽点滴速度

初回投与時の点滴速度

最初の 1 時間 : 25mg/時 ⇒ 次の 1 時間 : 100mg/時

⇒ 投与 2 時間以降 : 200mg/時

2回目以降の点滴速度(初回の副作用が軽微であった場合)

最初の 1 時間 : 100mg/時 ⇒ 投与 1 時間以降 : 200mg/時

Day1 アセトアミノフェン錠 300mg 2 錠内服(リツキシマブ投与 30 分前)

○注意事項

注入速度に関連して血圧下降、気管支痙攣、血管浮腫等の症状が発現するので点滴速度は厳守。

注入速度を上げた 30 分以内に発現しやすいので十分観察すること。

Infusion reaction. (発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、そう痒、発疹、咳、虚脱感等)に注意。
(90%)

ほとんどは初回点滴静注開始後 30 分~24 時間以内に出現。

腫瘍崩壊症候群の危険因子をもつ患者には、アロプリノールの投与、輸液による尿量確保の実施。